FUKUI COMPUTER

どこでも写真管理Plus

iOS 版

どこでも写真管理 Plus
コンクリート受入検査/圧縮強度検査
操作手順書 iTunes 使用

EX-TREND武蔵のコンクリート品質管理、どこでも写真管理Plusでデータを連携して、計測値を入力しながらコンクリート品質写真を撮影する操作を説明します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。
　ご了承ください。
※黒板作成・連携ツールのライセンスが必要です。

注意　使用時の注意点

下記を超えると、端末のメモリー等の仕様にもよりますが動作が不安定となる可能性がありますので、それ以下で運用することをお奨めします。

・黒板総数：200枚以下
・撮影済み写真は200枚程度を最大として、随時PCへ保存

目次

iOS版　どこでも写真管理Plus　コンクリート受入検査/圧縮強度検査 操作手順書　iTunes使用

1. どこでも写真管理Plusについて ____ 1

どこでも写真管理Plusの概要 ____ 1

コンクリート品質データを転送する方法 ____ 2

黒板・写真データを転送する方法 ____ 2

2. コンクリート品質管理で工種分類を作成する ____ 3

工種分類を作成する ____ 3

3. 工種分類データをどこでも写真管理Plusに転送する _ 8

工種分類データを転送する ____ 8

4. どこでも写真管理Plusで品質データを入力する____ 13

工事データを作成する ____ 13

工種分類データを取り込む ____ 14

実測値を入力する ____ 17

コンクリート品質写真を撮影する____ 18

5. 品質データをコンクリート品質管理に取り込む ____ 23

コンクリート品質データを出力する____ 23

コンクリート品質データを取り込む ____ 26

6. コンクリート品質写真を写真管理に取り込む____ 32

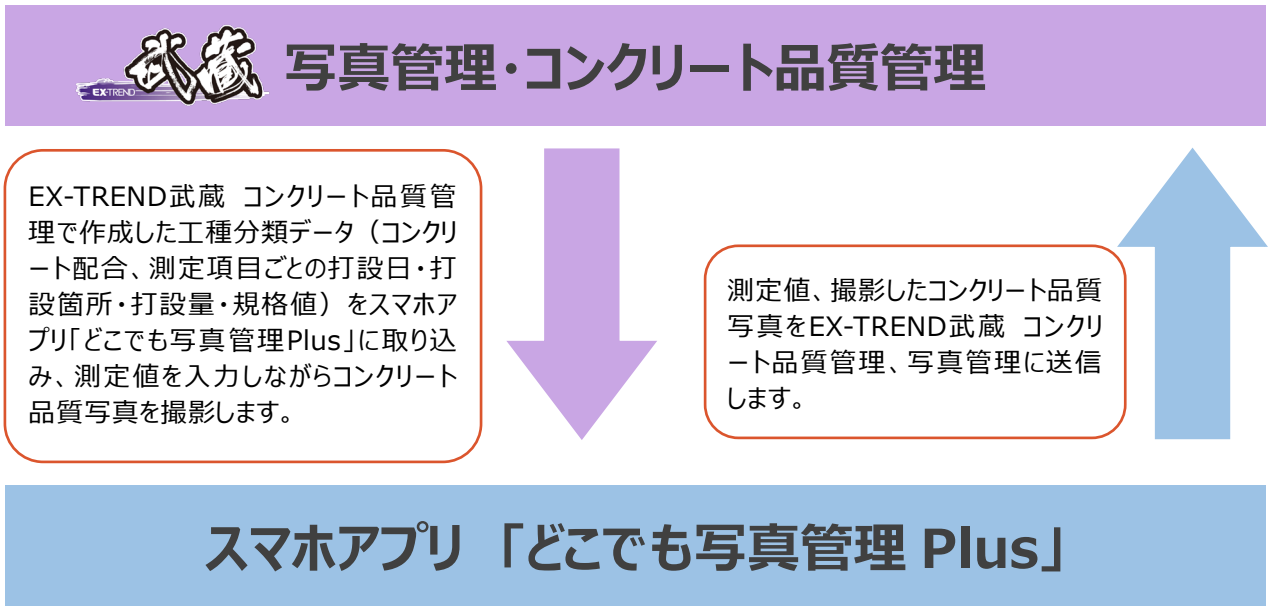
写真を取り込む____ 32

1 どこでも写真管理 Plus について

どこでも写真管理Plusについて解説します。

どこでも写真管理Plusの概要

EX-TREND武蔵　コンクリート品質管理、スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。
どこでも写真管理Plusとは、電子小黒板機能付き工事写真撮影アプリです。
また、コンクリート品質の試験結果を直接入力することもできます。
※クラウド連携を使用する場合は「CIMPHONY Plus」の契約が必要です。

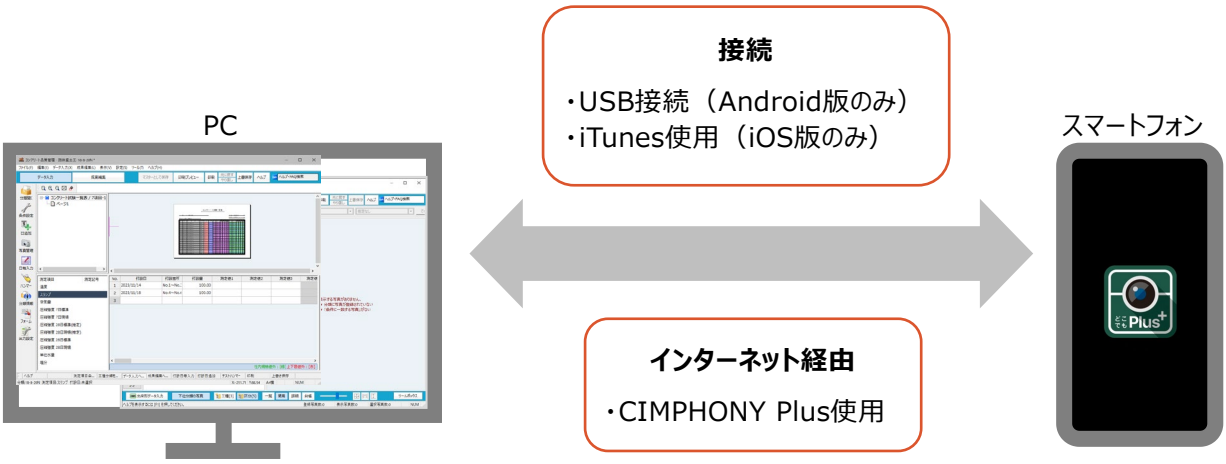


コンクリート品質データを転送する方法

PCとスマートフォンでコンクリート品質データを転送する方法は3通りあります。

・USBで接続する（Android版のみ）
・CIMPHONY Plusを使用する（Android版・iOS版　共通）
・iTunesを使用する（iOS版のみ）

インターネットを経由する（CIMPHONY　Plusを使用する）と、PCとスマートフォンが離れた場所（事務所と現場など）にある場合でもコンクリート品質データを転送できます。

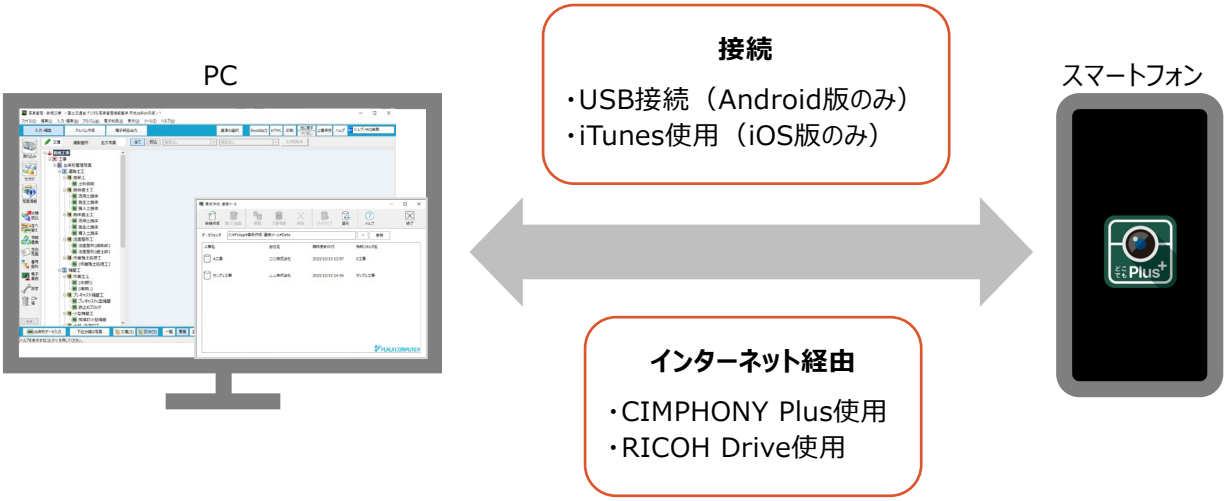


黒板・写真データを転送する方法

PCとスマートフォン間で黒板や写真データを転送する方法は4通りあります。

・USBで接続する（Android版のみ）
・CIMPHONY Plusを使用する（Android版・iOS版　共通）
・RICOH Driveを使用する（Android版・iOS版　共通）
・iTunesを使用する（iOS版のみ）

インターネットを経由する（CIMPHONY Plusを使用する、RICOH Driveを使用する）と、PCとスマートフォンが離れた場所（事務所と現場など）にある場合でも黒板や写真データを転送できます。



2 コンクリート品質管理で工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理で工種分類を作成します。

工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理で工種分類を作成して、配合・測定項目・打設日・規格値を設定します。
ここでは、工事テンプレートから分類を読み込みます。

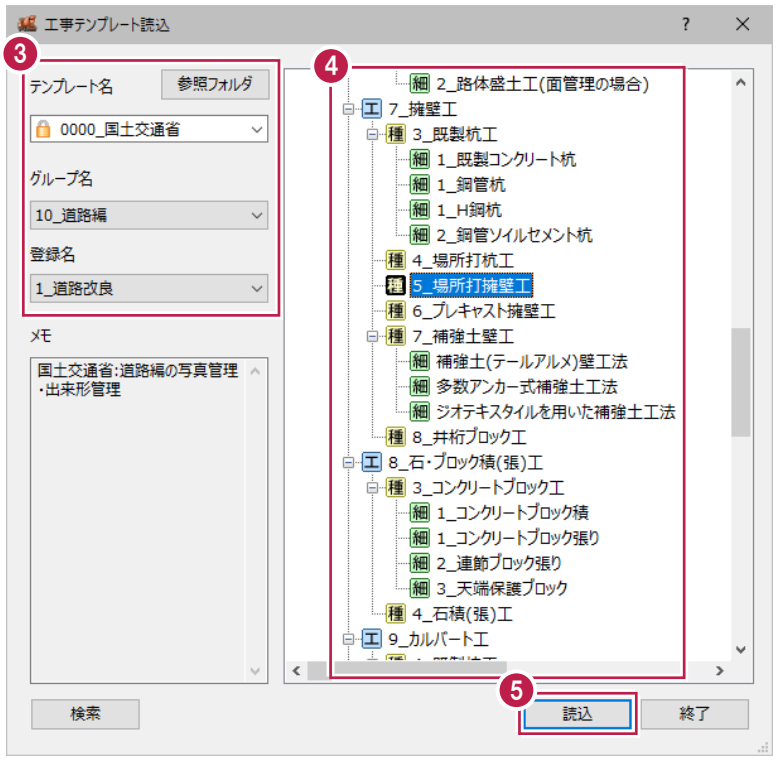
1. コンクリート品質管理の作業の開始ダイアログで［他の方法で分類作成］をクリックします。
2. ［工事用テンプレート］をクリックします。

3. ［テンプレート名］［グループ名］［登録名］を選択します。

4. 読み込む分類を選択します。

5. ［読込］をクリックします。

分類が読み込まれます。

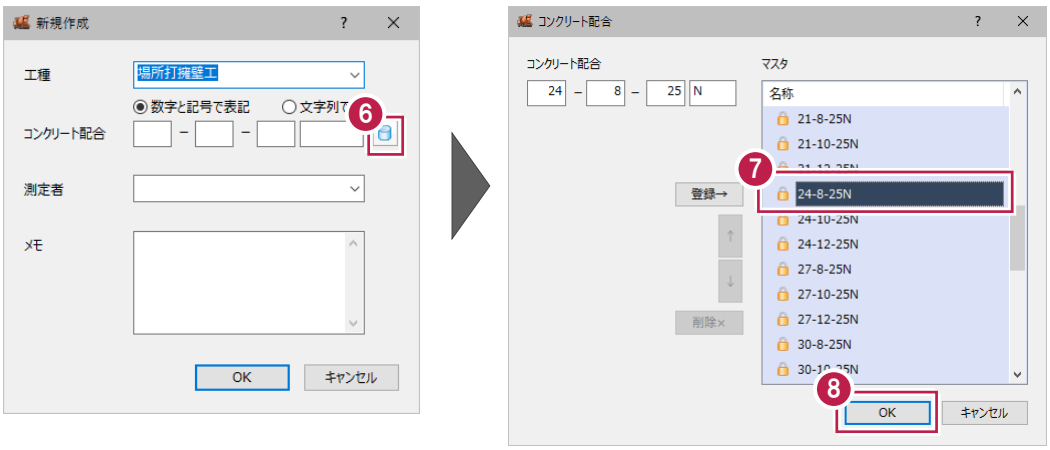


6. ［コンクリート配合］［測定者］などを入力します。

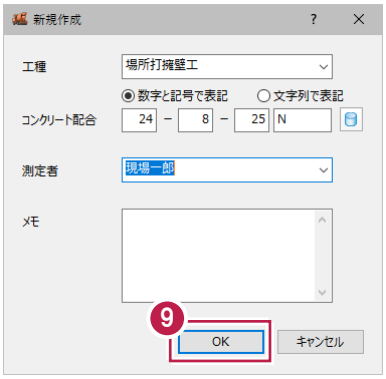
ここでは［コンクリート配合マスタ］をクリックします。

7. 読み込むマスタを選択します。

8. ［OK］をクリックします。

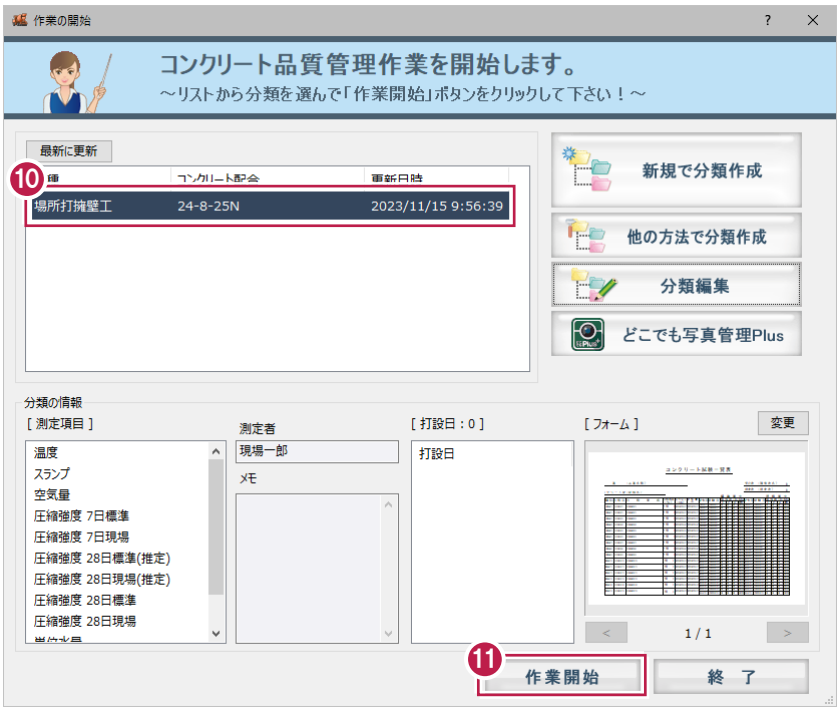


9. ［OK］をクリックします。



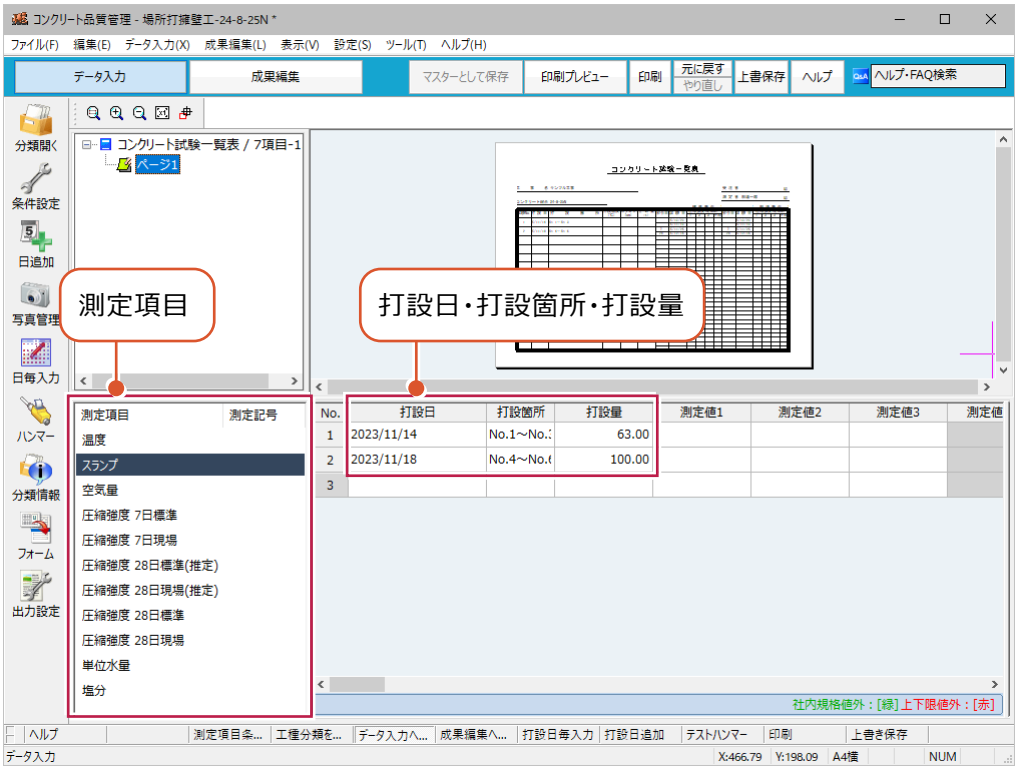
10. 分類を選択します。

11. ［作業開始］をクリックします。



12. ［取り消して終了］をクリックします。

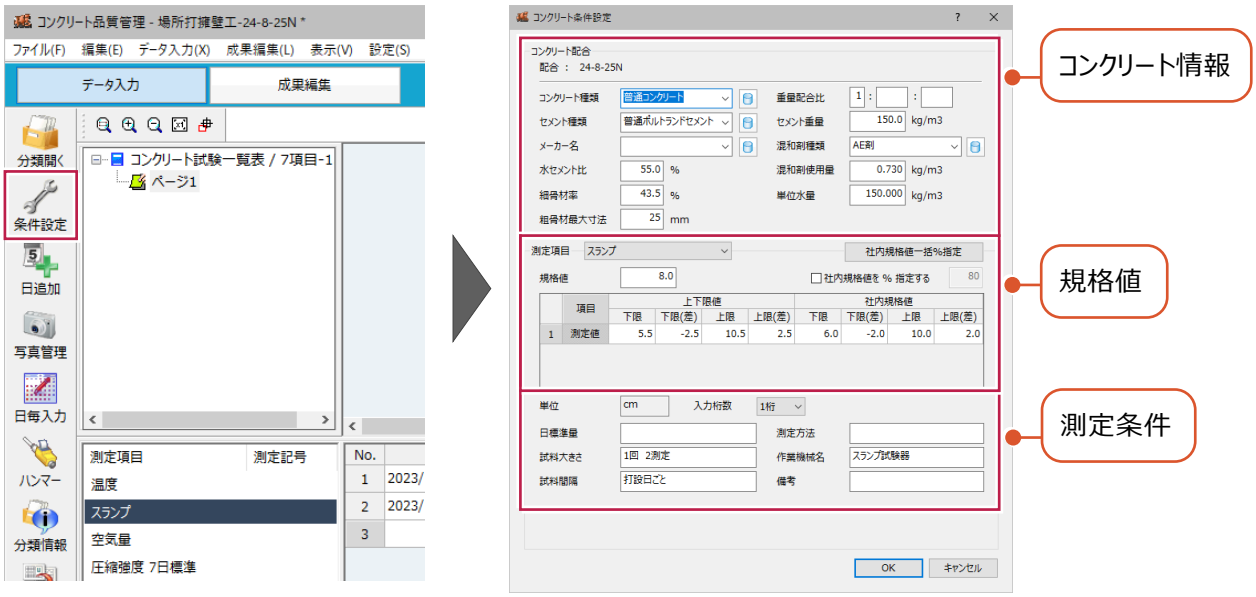
13. データ入力画面で、測定項目ごとの打設日・打設箇所・打設量・規格値を設定します。



補足

使用するコンクリートの情報や測定項目ごとの規格値、測定条件の設定

使用するコンクリートの情報や測定項目ごとの規格値、測定条件は［条件設定］で設定します。



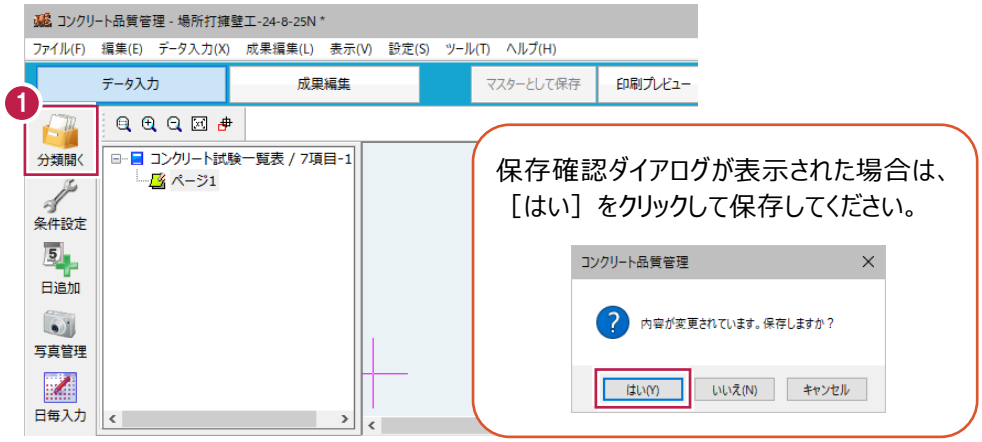
3 工種分類データをどこでも写真管理 Plus に転送する

工種分類データをスマホアプリ「どこでも写真管理Plus」に転送します。

工種分類データを転送する

iTunesを使用して、工種分類データをどこでも写真管理Plusに転送します。

1.コンクリート品質管理で［分類開く］をクリックします。



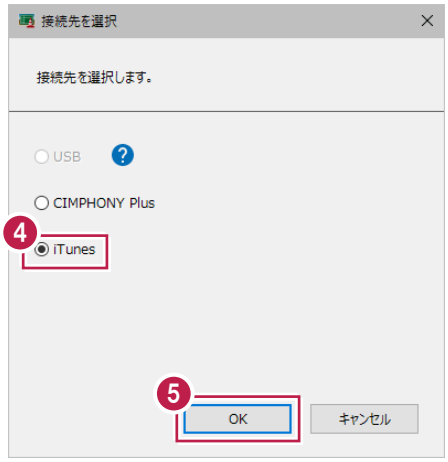
2.［どこでも写真管理Plus］をクリックします。

3.［データ転送］をクリックします。

※データを転送するには、「黒板作成・連携ツール」がインストールされている必要があります。

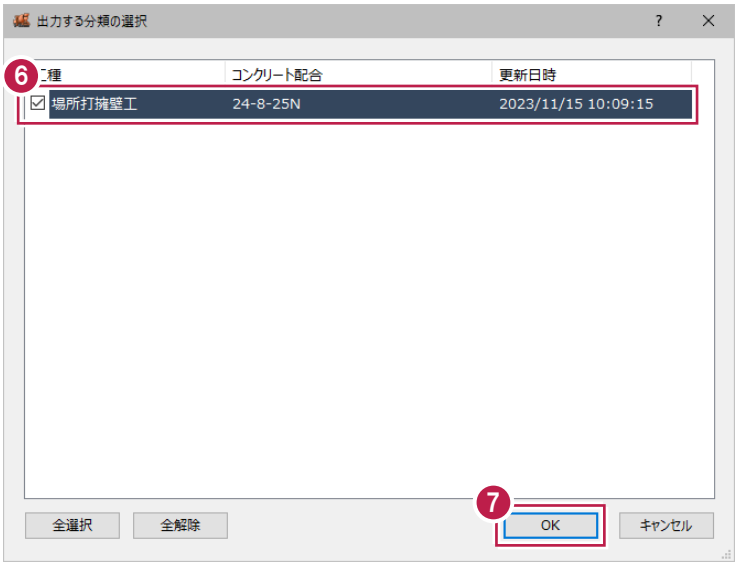
4.接続先は［iTunes］を選択します。

5.［OK］をクリックします。



6.転送する工種分類をオンにします。

7.［OK］をクリックします。



8. 連携データを一旦PCの任意のフォルダーに出力します。

出力先のフォルダーを選択します。

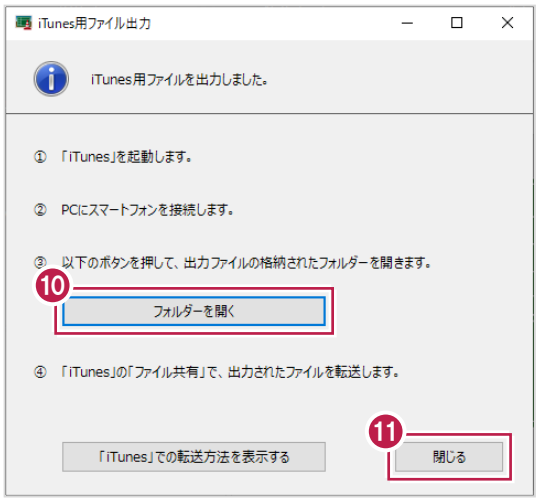
※事前にデスクトップ等、分かりやすい場所にフォルダーを作成しておくことをお勧めします。

9. ［フォルダーの選択］をクリックします。

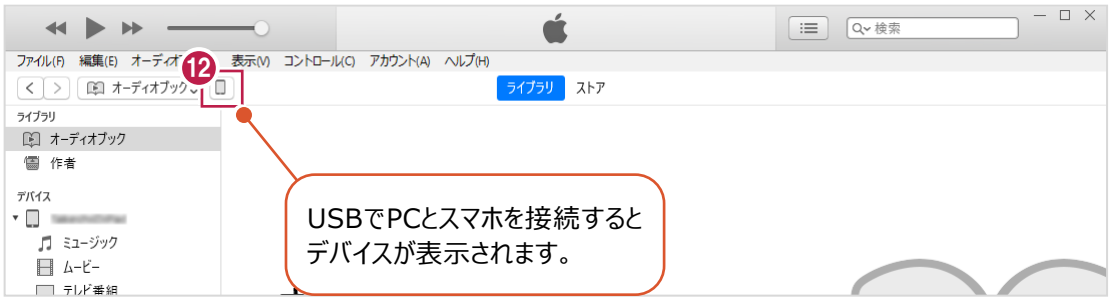
10. ［フォルダーを開く］をクリックします。

出力ファイルの格納されたフォルダーが開きます。

11. ［閉じる］をクリックします。



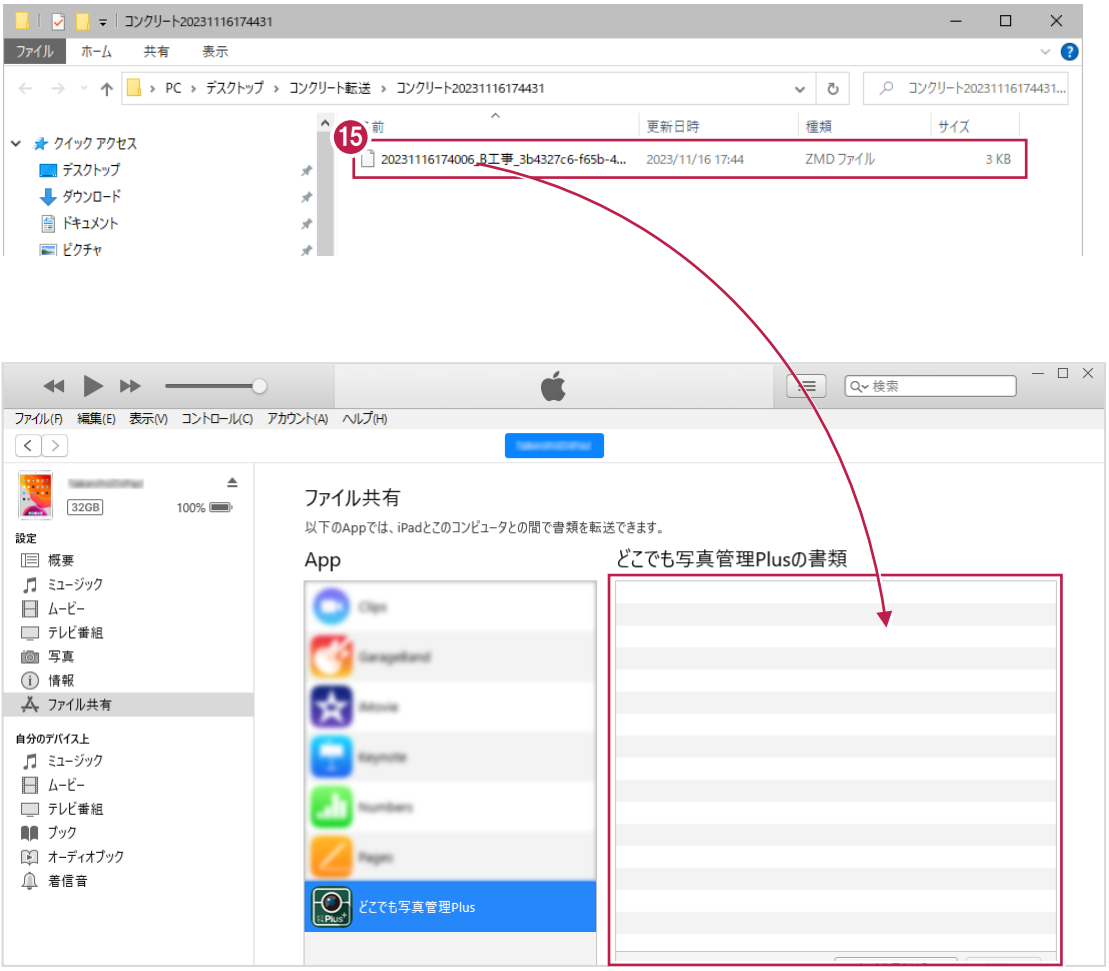
12. PCにインストールされているiTunesを起動し、PCとスマートフォンを接続して、スマホのアイコンをクリックします。



13. ［ファイル共有］を選択します。

14. ［どこでも写真管理Plus］を選択します。

15.出力した連携データのファイルをiTunesにドラッグ&ドロップします。



16.iTunesに連携データが登録されます。

4 どこでも写真管理 Plus で品質データを入力する

コンクリート品質管理から転送した工種分類を使用して、どこでも写真管理Plusでコンクリート品質データを入力します。

工事データを作成する

スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」で工種分類データの転送先となる工事データを作成します。

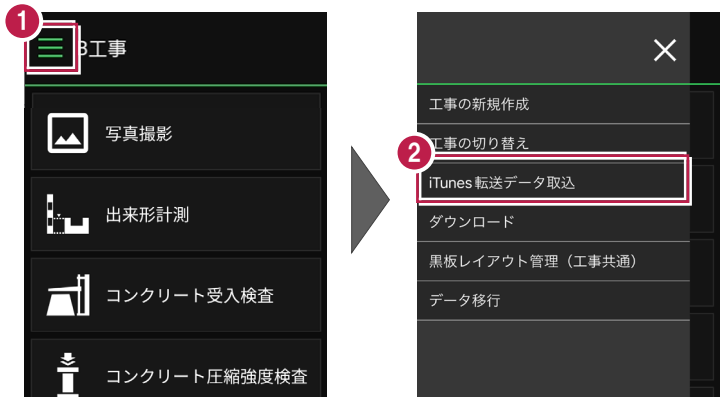
1. スマートフォンで［どこでも写真管理Plus］を起動し、メインメニュー画面のメニューボタンをタップします。
2. ［工事の新規作成］をタップします。

3. ［工事名］［河川路線名］［受注者名］を入力します。
4. ［作成］をタップします。
   作成した工事が表示されます。

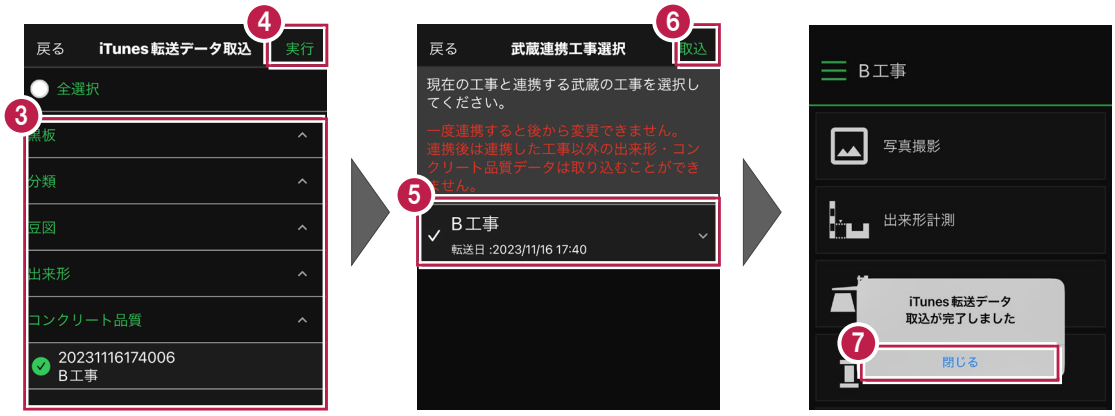
工種分類データを取り込む

どこでも写真管理Plusにコンクリート品質管理から転送した工種分類データを取り込みます。

1. どこでも写真管理Plusで作成した工事のメインメニュー画面を開き、メニューボタンをタップします。
2. ［iTunes転送データ取込］をタップします。



3. 取り込むデータを選択します。
4. ［実行］をタップします。
5. データの取り込み元工事を選択します。（初回のみ）
   ※取り込み元工事を選択し直すことはできないため、慎重に操作してください。
6. ［取込］をタップします。
7. ［閉じる］をタップします。
   データが取り込まれます。



補足

取り込んだ工種分類データを確認する

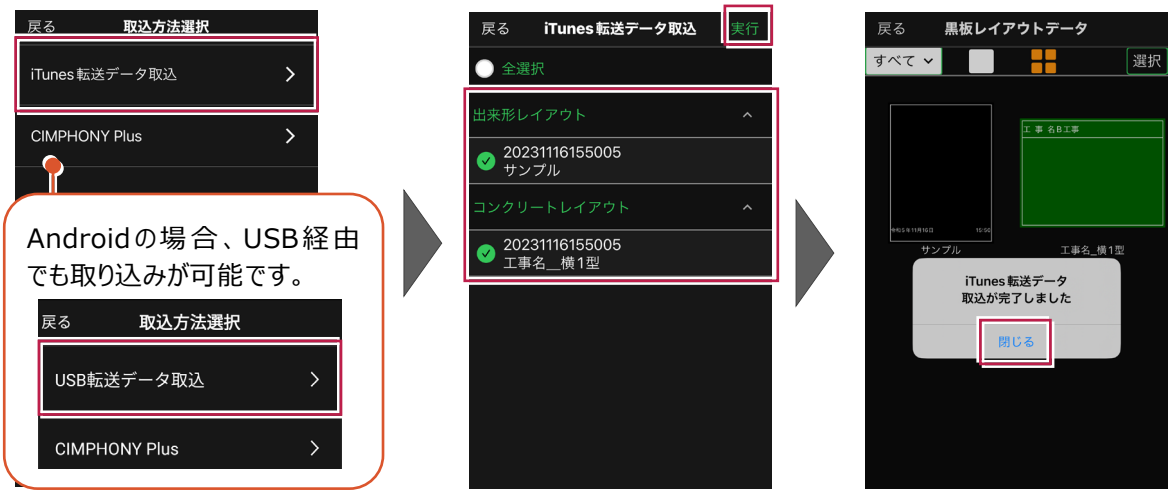
取り込んだ工種分類データは［データ管理］の［コンクリート品質］で確認・削除できます。

補足

黒板レイアウトを取り込む

黒板作成・連携ツールの［黒板レイアウト作成ツール］で作成した黒板レイアウトを取り込めます。

※RICOH Drive経由では取り込めません。

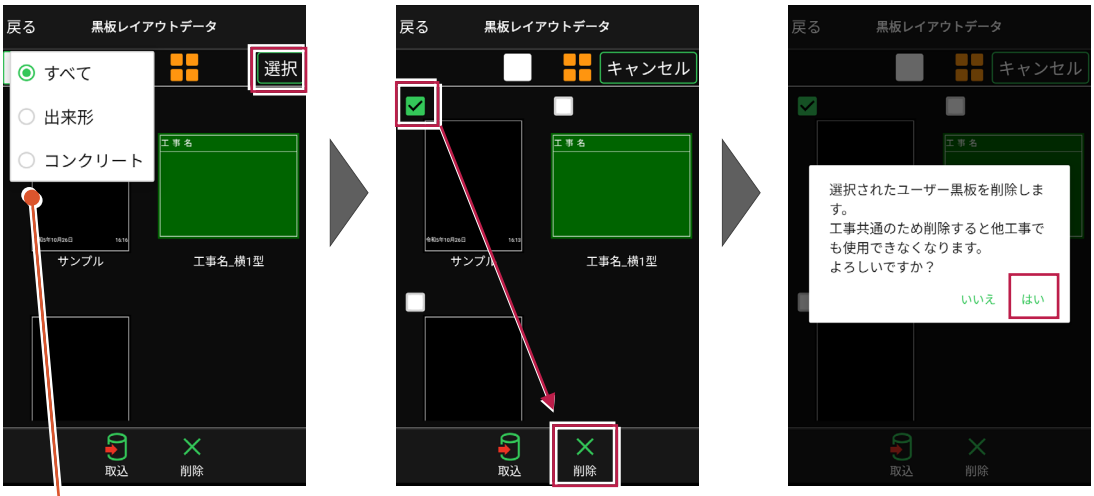


Androidの場合、USB経由でも取り込みが可能です。

補足 黒板レイアウトを削除する

黒板レイアウトデータの［選択］で黒板を選択し、不要な黒板レイアウトを削除できます。

※取り込んだ黒板レイアウトは、どこでも写真管理Plus内の他工事でも共通して使用できるため、
削除すると、他工事で使用できなくなります。



すべて・出来形・コンクリートで
表示の絞り込みができます。

補足 「黒板」と「黒板レイアウト」の違い

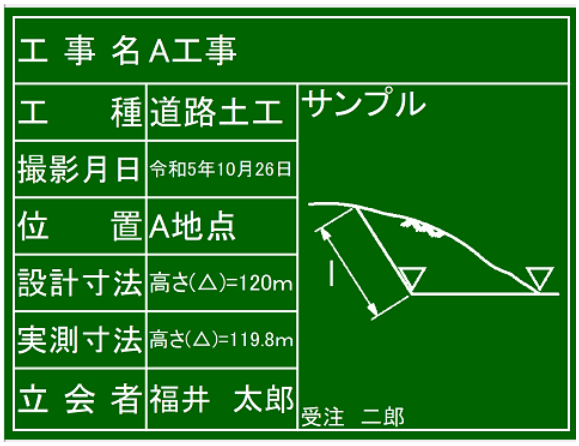
●黒板

・「レイアウト+データ」

・写真管理から連動させた分類情報や、撮影箇所、施工管理値など
「情報を持った黒板レイアウト」を指します。

・EX-TREND武蔵　写真管理と連携します。

・メニューボタンの［USBデータ取込］［iTunes転送データ取込］
［ダウンロード］で取り込めます。



●黒板レイアウト

・「レイアウトのみ」

・「情報を持たない黒板」を指します。

・EX-TREND武蔵　出来形管理・コンクリート品質管理と連携します。

・メニューボタンの［黒板レイアウト管理（工事共通）］でのみ
取り込めます。

実測値を入力する

実測値を入力します。

1.メインメニュー画面で［コンクリート受入検査］をタップします。

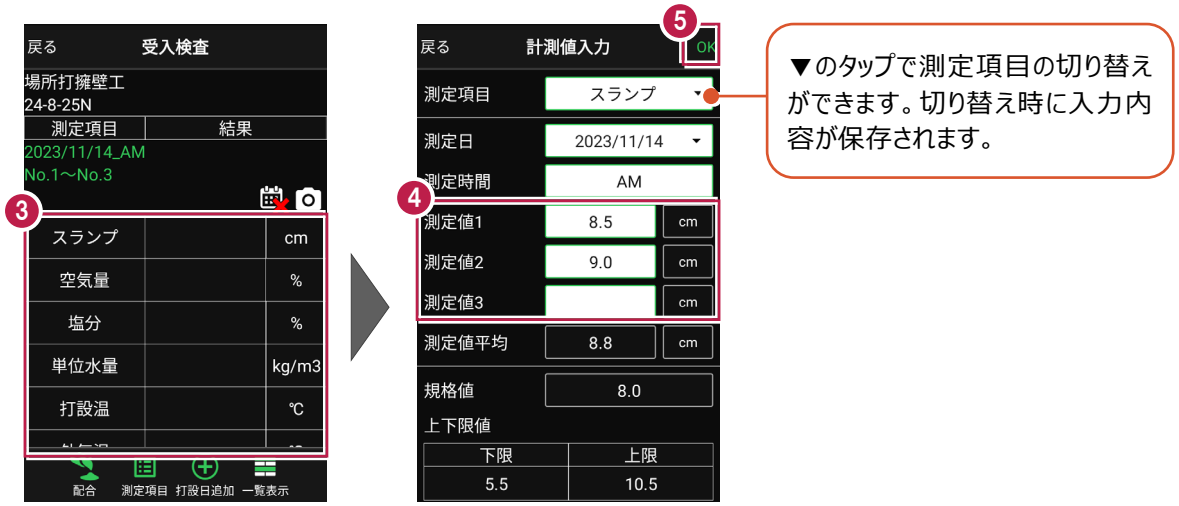
2.ツリーを展開して、配合をタップします。

3.測定結果をタップします。

4.測定値を入力します。

5.［OK］をタップして、受入検査画面に戻ります。

（受入検査画面、計測値入力画面の詳細はヘルプを参照してください。）



コンクリート品質写真を撮影する

コンクリート品質写真を撮影します。

1.写真を撮影する打設日、打設箇所のカメラボタンをタップします。
写真撮影画面が表示されます。

写真撮影画面を起動した際に、
各種動作の許可を求めるメッセージが
表示されることがあります。

メッセージが表示された場合は、
［許可］をタップしてください。

2.黒板をタップします。

エラーがある場合に表示されます。
エラーマークをタップするとエラー情報が
表示され、エラー内容をタップすると
写真情報を編集できます。

黒板に計測データが反映されます。

3.黒板編集画面で文字属性や写真情報を設定します。
（編集方法はヘルプを参照してください。）

4.［戻る］をタップして、写真撮影画面に戻ります。

文字属性モード/写真情報モードを
切り替えて、黒板を編集します。

5.撮影ボタンをタップします。
（写真撮影画面の詳細はヘルプを参照してください。）

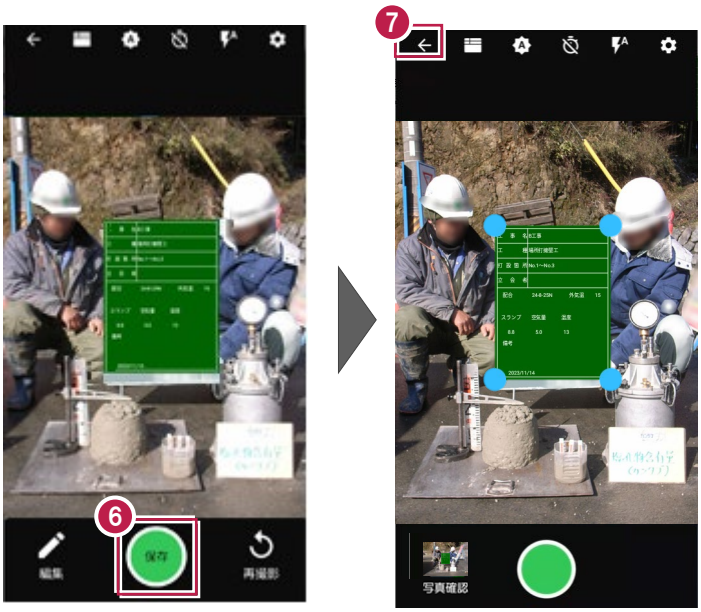
黒板をドラッグすると、移動できます。
初期設定で黒板四隅のトラッカーを
ドラッグすると、拡大・縮小できます。

初期設定で端末を回転すると、
写真撮影画面と撮影した写真も同じ向きになります。

6. ［保存］をタップします。

写真が保存され、写真撮影画面に戻ります。

7. 戻るボタンをタップして、計測画面に戻ります。



8. 同様に、他の打設日、打設箇所の測定値を入力して写真を撮影します。

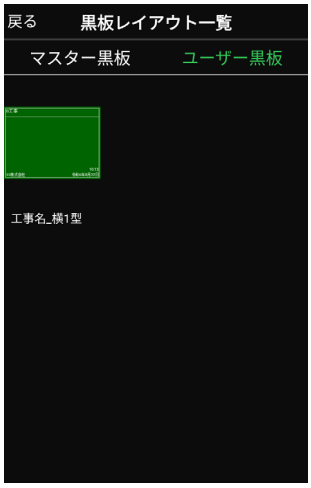
9. ［戻る］をタップして、工種一覧画面に戻ります。

10. ［戻る］をタップして、メインメニュー画面に戻ります。

補足

黒板レイアウトを変更する

黒板レイアウトを変更したい場合は、黒板編集画面の［レイアウト変更］からレイアウトを選択してください。



補足

［コンクリート圧縮強度検査］の場合

［コンクリート受入検査］と同様の流れで操作ができます。入力画面が一部異なります。

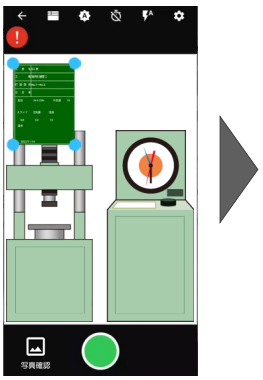
回数を切り替えて検査結果を入力できます。切り替え時に入力値は保持されます。

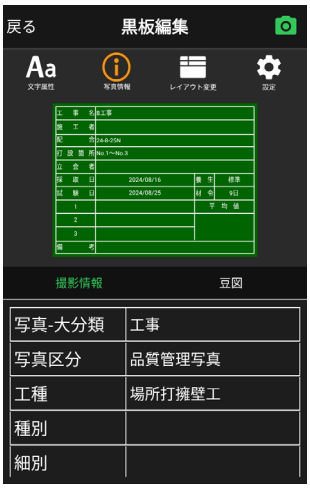
入力完了後は［保存］で圧縮強度検査画面に戻ります。

同様に、他の測定項目の検査結果を入力できます。

検査結果の入力完了後は［戻る］で工種一覧、メインメニューに戻ります。

カメラボタンをタップして撮影もできます。





5 品質データをコンクリート品質管理に取り込む

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理にコンクリート品質データを取り込みます。

コンクリート品質データを出力する

どこでも写真管理PlusからiTunesにコンクリート品質データを出力します。

1. どこでも写真管理Plusのメインメニュー画面で［データ管理］をタップします。
2. ［コンクリート品質］をタップします。
3. ［選択］をタップします。

4. 出力するコンクリート品質データのチェックをオンにします。

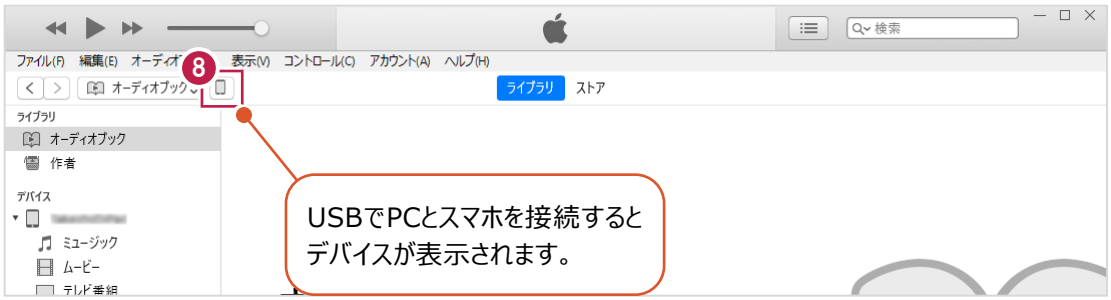
5. ［出力］をタップします。

6. ［iTunes］をタップします。

7. ［閉じる］をタップします。

   データが出力されます。

8. iTunesを起動し、PCとスマートフォンを接続して、スマホのアイコンをクリックします。



9. ［ファイル共有］を選択します。

10. ［どこでも写真管理Plus］を選択します。

11. 取り込む工事データを選択します。

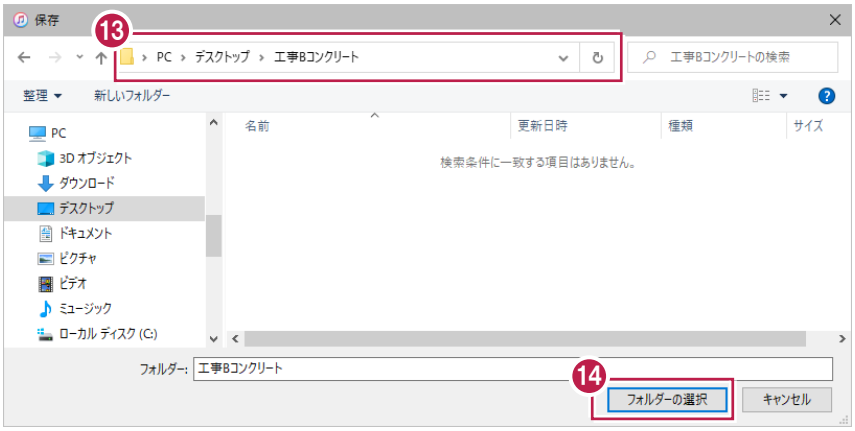
12. ［保存］をクリックします。

13. コンクリート品質データを保存するフォルダーを選択します。

※事前にデスクトップ等、分かりやすい場所にフォルダーを作成しておくことをお勧めします。

14. ［フォルダーの選択］をクリックします。

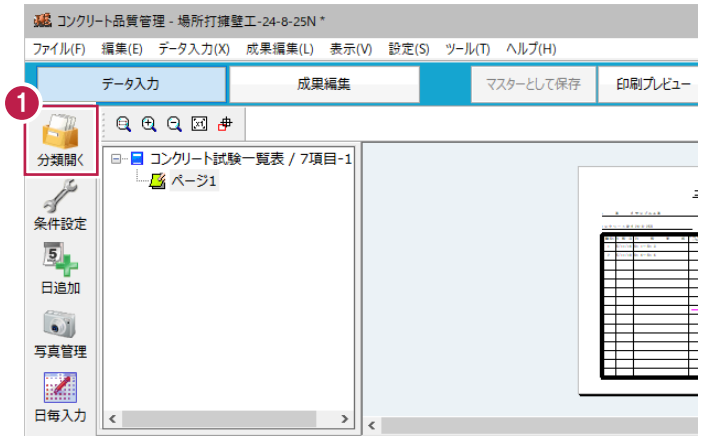
指定したフォルダーに「工事名」のフォルダーが作成され、コンクリート品質データが保存されます。



コンクリート品質データを取り込む

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理にコンクリート品質データを取り込みます。

1.コンクリート品質管理で［分類開く］をクリックします。



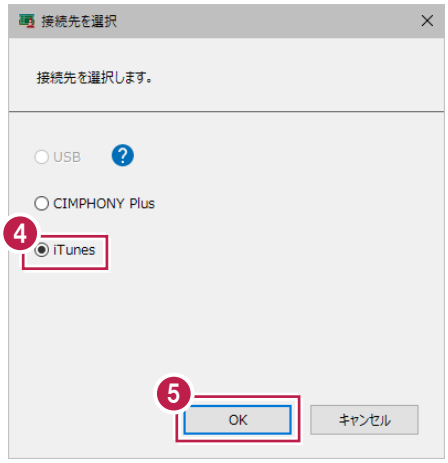
2.［どこでも写真管理Plus］をクリックします。

3.［データ取込］をクリックします。

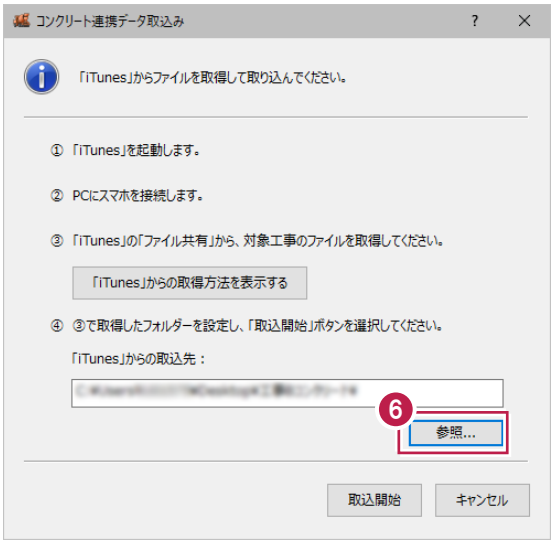
※データを取り込むには、「黒板作成・連携ツール」がインストールされている必要があります。

4.接続先は［iTunes］を選択します。

5.［OK］をクリックします。



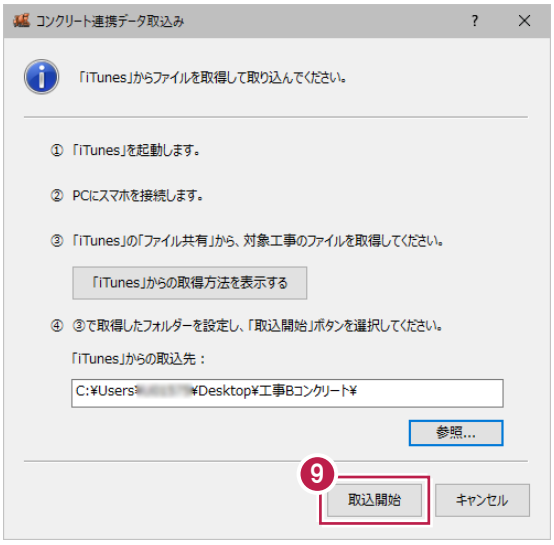
6.［参照］をクリックします。



7.コンクリート品質データを保存したフォルダーを選択します。

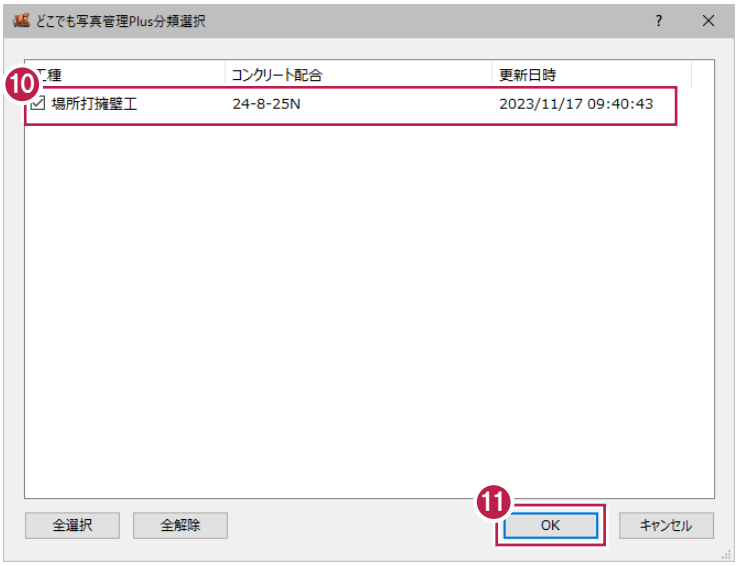
8.［フォルダーの選択］をクリックします。

9.［取込開始］をクリックします。



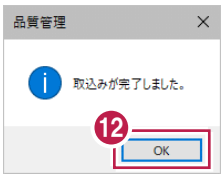
10.取り込む工種分類をオンにします。

11.［OK］をクリックします。



12.［OK］をクリックします。

データが取り込まれます。

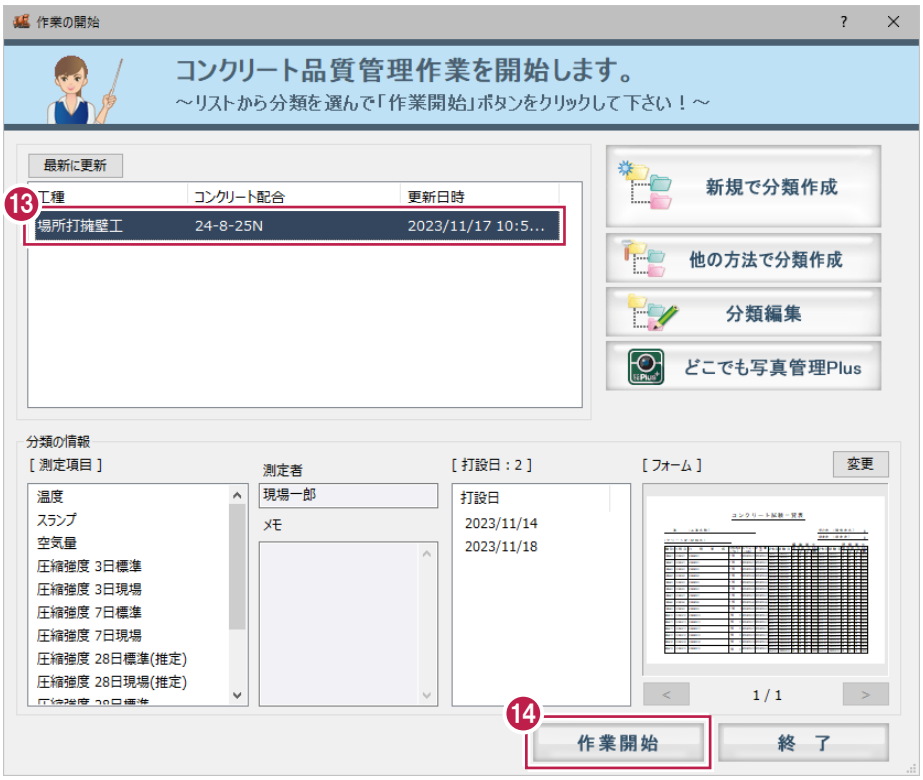


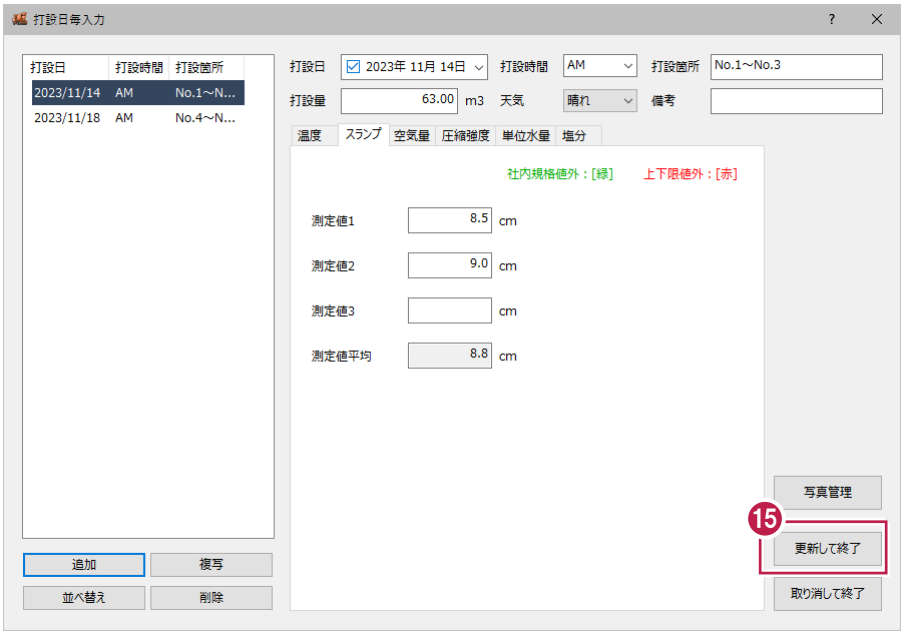
13. 分類を選択します。

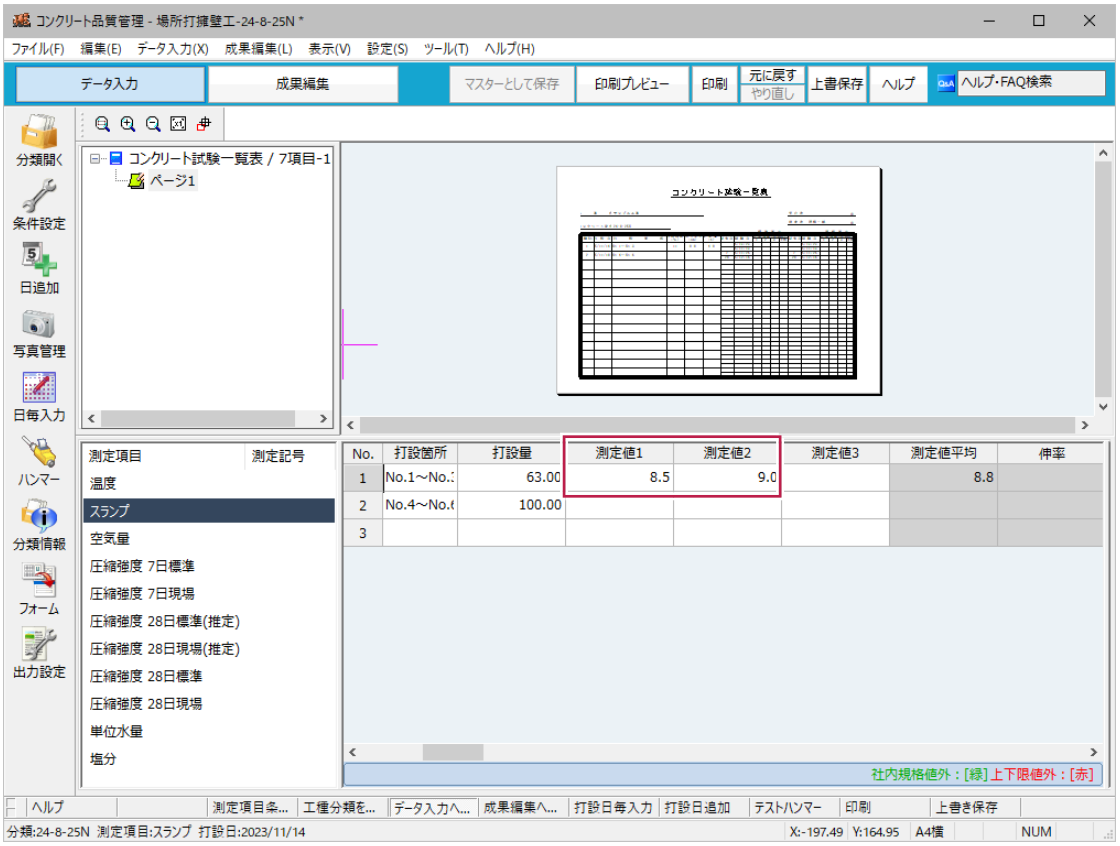
14. ［作業開始］をクリックします。

15. ［更新して終了］をクリックします。

コンクリート品質データが取り込まれていることが確認できます。






コンクリート品質管理 - 場所打擁壁工-24-8-25N *
ファイル(F) 編集(E) データ入力(X) 成果編集(L) 表示(V) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)
データ入力
成果編集
マスターとして保存
印刷プレビュー
印刷
元に戻す
やり直し
上書保存
ヘルプ
ヘルプ・FAQ検索
分類開く
条件設定
日追加
写真管理
日毎入力
ハンマー
分類情報
フォーム
出力設定
コンクリート試験一覧表 / 7項目-1
ページ1
測定項目
測定記号
温度
スランプ
空気量
圧縮強度 7日標準
圧縮強度 7日現場
圧縮強度 28日標準(推定)
圧縮強度 28日現場(推定)
圧縮強度 28日標準
圧縮強度 28日現場
単位水量
塩分
No. 打設箇所 打設量 測定値1 測定値2 測定値3 測定値平均 伸率
1 No.1～No.3 63.00 8.5 9.0 8.8
2 No.4～No.6 100.00
3
社内規格値外：[緑] 上下限値外：[赤]
ヘルプ
測定項目条... 工種分類を... データ入力へ... 成果編集へ... 打設日毎入力 打設日追加 テストハンマー 印刷 上書き保存
分類:24-8-25N 測定項目:スランプ 打設日:2023/11/14
X:-197.49 Y:164.95 A4横 NUM

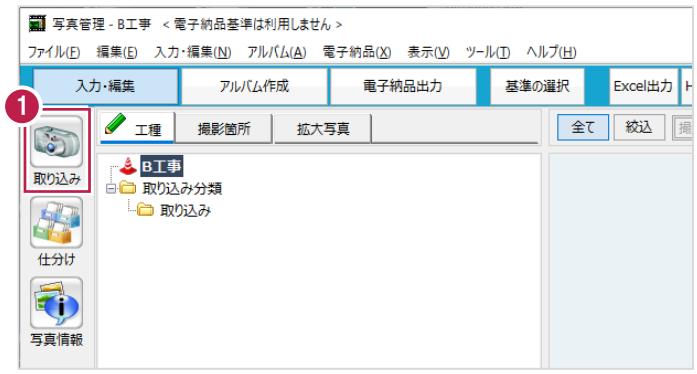
6 コンクリート品質写真を写真管理に取り込む

EX-TREND武蔵 写真管理にコンクリート品質写真を取り込みます。

写真を取り込む

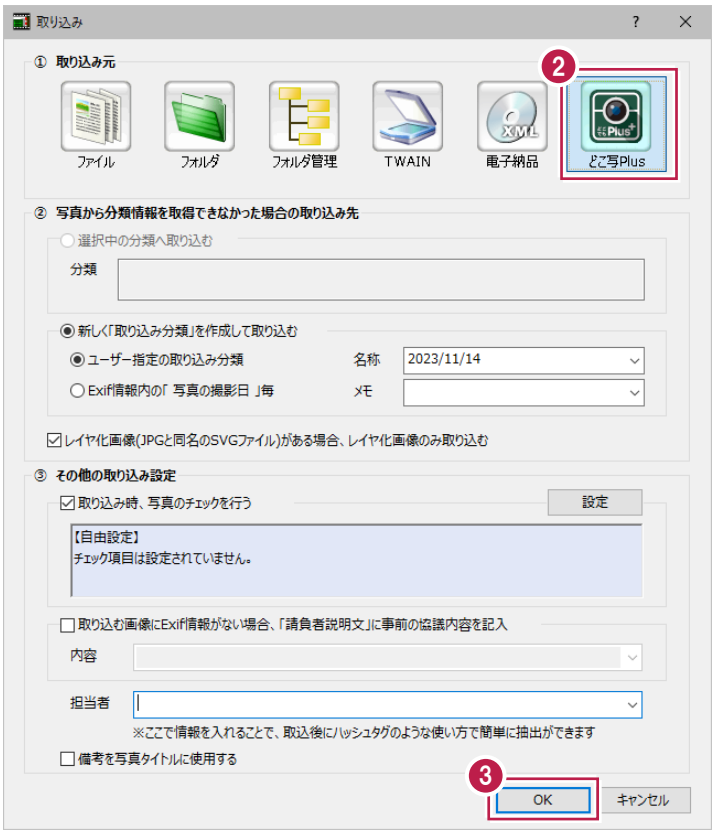
EX-TREND武蔵 写真管理に写真を取り込みます。

1.写真管理で［取り込み］をクリックします。



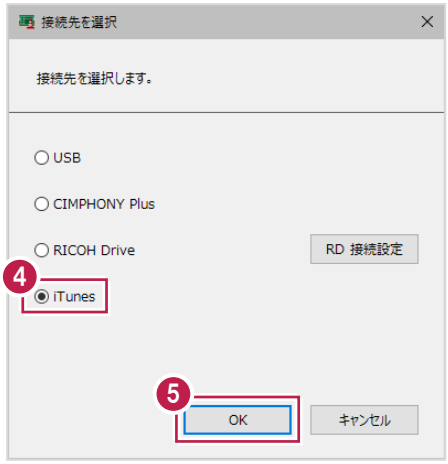
2.［どこ写Plus］を選択します。

3.［OK］をクリックします。



4. 接続先は［iTunes］を選択します。

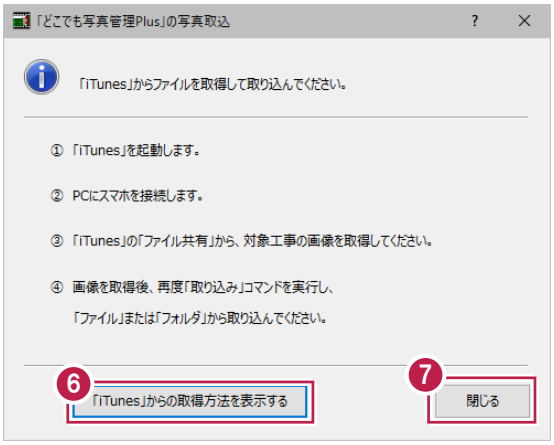
5. ［OK］をクリックします。



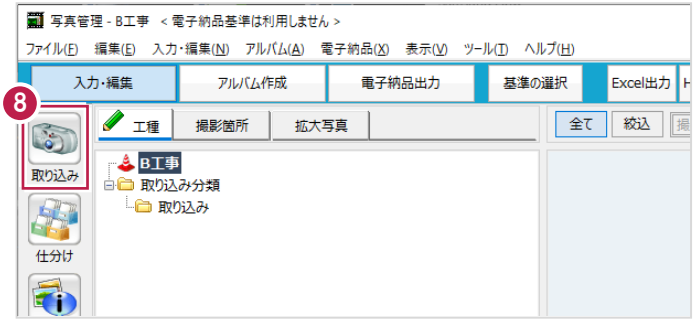
6. ［「iTunes」からの取得方法を表示する］をクリックします。

   iTunesから写真を取得するマニュアルが表示されるため、手順に従って写真を取得してください。

7. ［閉じる］をクリックします。



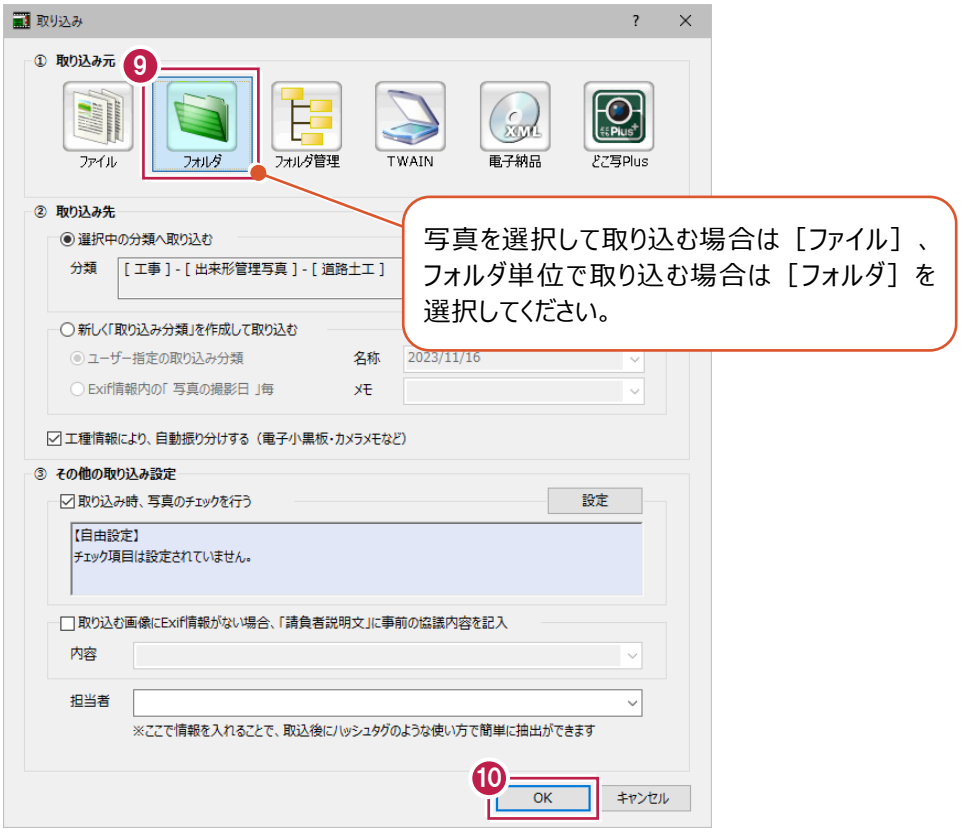
8.写真管理で［取り込み］をクリックします。



9.［ファイル］または［フォルダ］を選択します。

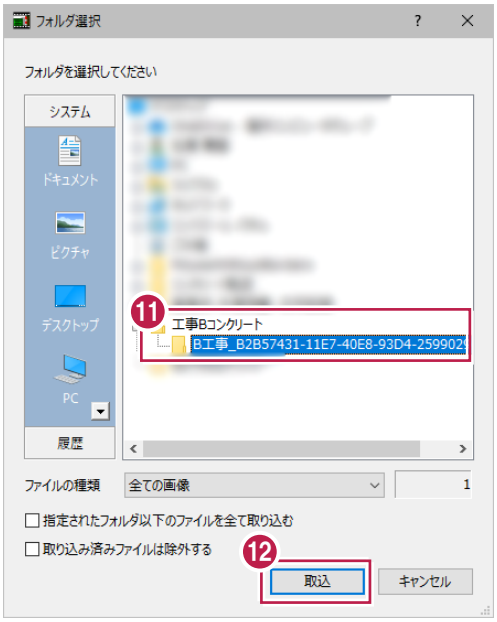
ここでは、［フォルダ］を選択します。

10.［OK］をクリックします。



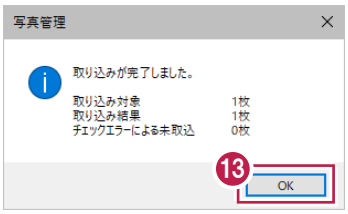
11.コンクリート品質データを保存したフォルダ内の工事名称フォルダを選択します。

12.［取込］をクリックします。

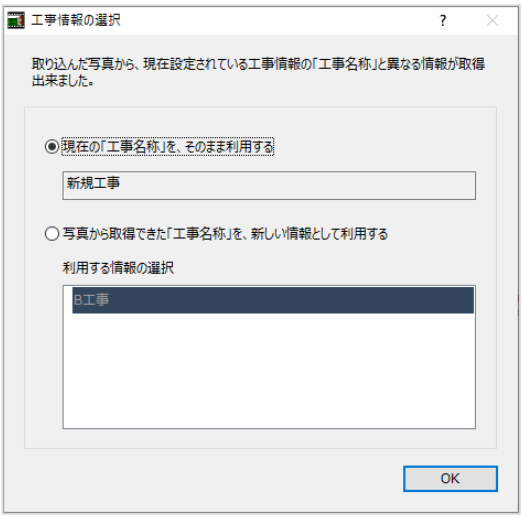


13.［OK］をクリックします。

写真が取り込まれます。



補足

写真管理とどこでも写真管理 Plus の工事情報が異なる場合

写真管理とどこでも写真管理Plusの工事名称や受注者名が異なる場合は、工事情報の選択ダイアログが表示されます。
どちらを利用するか選択してください。